

▶ 獣道になりそうな藪を刈りました（南半田字薬師堂）



町は、有害鳥獣対策として、鳥獣の隠れ場や獣道となる藪を適正に管理する町内会などの団体に対し、今年6月から「自走式草刈機（ハンマーナイフモア）」を無料で貸し出しています。

既に半田地区住民自治協議会や内之馬場多面的活動組織など、4団体が自走式草刈機を使用して草刈りを実施。利用者からは「肩掛け草刈機を使うより時間が短縮した」「今後も使用したい」などの感想がありました。希望者は、産業振興課（☎582-2126）までご連絡ください。

有害鳥獣対策として 自走式草刈機を貸し出し開始

桑折町総合計画審議会 総合計画（案）の完成に向けて

第5回総合計画審議会が7月27日、役場で行われました。今回は、前回の会議で出された意見を踏まえ、修正を加えた素案について審議。今後は、8月開催予定の会議で、再調整した案について最終審議を行い、町に對し答申する予定です。

総合計画案に対し、町内に在住・在勤する人や利害関係者の皆さんから意見を募集します。

■募集期限 8月16日

■提出方法 所定の様式に記入し、総合政策課へ郵送、FAX、メール、直接提出または「意見箱」に投函してください。

▶ 意見募集の詳細は総合政策課（☎582-2115）まで



1_ 町産木材が使われた役場庁舎で意見交換 2_ 子育て住宅を視察 3_ 福島蚕糸跡地の整備予定について語る

内堀福島県知事が来町 町の施策について意見交換

内堀雅雄県知事と高橋町長の意見交換会が7月14日に行われ、町の施策の現状報告と今後のビジョンについて語りました。

はじめに、役場で懇談を行い、献上桃産地指定の御礼や新型コロナウイルスウィルスワクチンの安定供給、昭和大桥の早期復旧、特別支援教育支援員や不登校対応の支援員に関する財政支援の要望などを行い

ました。

続いて、今年1月に開庁した役場庁舎をはじめ、子育て世帯定住促進住宅と福島蚕糸跡地を視察。商業施設やグランピング施設などが整備される予定の福島蚕糸跡地では、町の魅力や暮らしやすさ、にぎわいを生み出す施策など、今後の事業の展望とまちづくりのビジョンについて意見交換を行いました。

関係機関へ表敬訪問 献上桃同等品をお届け

献上桃選果・箱詰式が行われた7月26日、町は県庁や金融機関、報道機関などを訪れ、献上桃同等品をお届けしました。

高橋町長は内堀県知事のもとを訪問。「今年の桃は、4月の凍霜害で生育に不安があったが、大きさ・色・味わいともに

申し分ない高品質な出来栄えとなった。ぜひご賞味ください」と桃を手渡すと、内堀知事は「凍霜害の影響を心配していたが、安心した。この甘くて美味しい桃を、力を合わせて全国へPRしていきたいでしょう」と笑顔で話しました。



▶ 「香りも大きさも甘さも良く、ぜひたくさん味」と好評でした

伊達桑折IC出入口に案内板設置 ホタピーが利用者をお出迎え

町の新しい玄関口となる東北中央自動車道「伊達桑折インターチェンジ」の出入口に、町の観光誘客やブランド力向上を図るため、町の案内看板が7月1日に設置されました。

高さ2・4m、幅5・4m（約8畳分）の案内看板は、伊達桑折インターチェンジを降りて、国道4号へ入る交差点に差し掛かると、正面に見えてきます。

看板は、町の観光大使「ホタピー」とロゴマークがデザインされ、インターチェンジの利用者を出迎えます。

伊達崎橋架け替えの要望活動 県が調査に着手

阿武隈川に架かる、県道31号浪江国見線の伊達崎橋。桑折町と伊達市、国見町は7月19日、同橋の早期架け替え実現に向けて、要望活動を行いました。

高橋町長と須田博行伊達市長、引地真国見町長らが県庁を訪問。井出孝利副知事、猪股慶藏土木部長、相澤広志県北建設事務所長に要望書を手渡し、井出副知事より、「今年度

同橋架け替えに向けた調査に着手する」との回答を得ました。

同橋は、1961年に架設。老朽化に加えて、幅員が狭いので歩道が無く、歩行者や自転車通行の際に危険が生じ、右折車両が原因で渋滞も発生しやすくなっています。円滑な地域間の交通と緊急輸送路の確保に向けて、早急な改修が望まれています。



1_ 井出副知事（左）に要望書を手渡しました 2_ 右折車両が原因で、渋滞が発生しやすい伊達崎橋